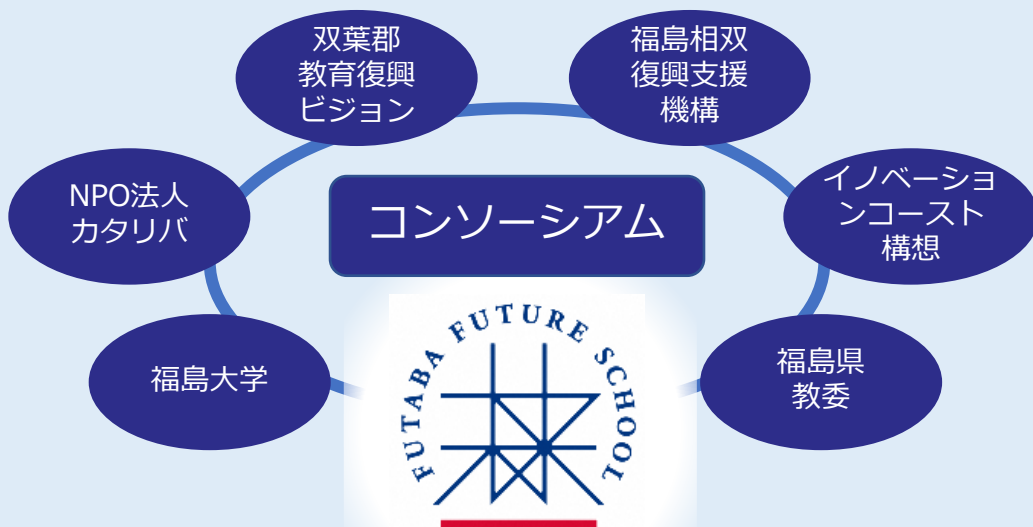


原子力災害からの復興を果たし、新たな地域社会を創造するグローバル・リーダーの育成

【経緯】本校は東日本大震災、福島第一原発事故により休校になった5校の伝統を継承する形で設立された。設立の経緯から本校の使命の一つは地域復興への貢献に資することにある。本事業により、復興を担う人材の育成、教育と地域復興の相乗効果の創出、地域課題とグローバル課題の効果的な往還による学びを目指す。

【実施体制】

ふたば未来学園と双葉郡による広域協働コンソーシアム



福島県立ふたば未来学園高等学校



【令和3年度の目標】

- コンソーシアムの立上げ、運営
- カリキュラム整備
- 双葉郡8町村への広域展開
- 設定目標の進捗管理

【取組状況】

- ・コンソーシアムの開催し、本事業の目的、育成人材像を共有し、本校への協力を確認した。
- ・次年度以降の探究関連のカリキュラムを整備した。
- ・全学年を通して双葉郡8町村を意識した取組を実施した。
- ・設定した目標を意識して活動をマネジメントした。

【成果と課題】

- コンソーシアムの本格的運用、地域知や専門知の効果的な接続、活用等を通じ、外部との組織的連携が強化された。
- 探究の早期導入や広域展開、活動件数の増加、各種コンテスト最優秀賞受賞等、質的にも量的にも活動の隆盛が見られた。
- 海外研修ができない環境下でもオンラインや代替研修等を活用し地域と世界の課題を重ねて学びを深めることができた。
- 社会との関わりや自分の価値観への影響調査において9割近い生徒が肯定的な捉え方をしており、本事業が生徒の生き方在り方に大きく影響を与えていることが示された。